



森永製菓株式会社  
<http://morinaga.co.jp>



“おいしく、たのしく、すこやかに”

証券コード 2201

森永製菓株式会社  
第168期第2四半期  
**株主通信**  
2015年4月1日～2015年9月30日



代表取締役会長 森永 剛太

代表取締役社長 新井 徹

代表取締役会長  
**森永 剛太** もりなが ごうた  
 経 歴  
 1962年 森永製菓株式会社入社  
 1977年 株式会社森永キャンデーストア入社  
 1983年 森永製菓株式会社取締役就任  
 1986年 経理部長委嘱  
 1988年 常務取締役就任  
           食品事業本部長委嘱  
 1990年 鶴見工場長委嘱  
 1995年 菓子事業本部長委嘱  
 1997年 代表取締役社長就任  
 2006年 代表取締役会長就任  
 (現在に至る)

代表取締役社長  
**新井 徹** あらい とおる  
 経 歴  
 1973年 森永製菓株式会社入社  
 1998年 人材開発部長就任  
 2001年 グループ事業企画部長就任  
 2002年 株式会社エンゼルフードシステムズ  
           代表取締役社長就任  
 2005年 森永製菓株式会社社理事・広報・IR部長就任  
 2008年 取締役就任 広報・IR部長兼広告部長委嘱  
 2009年 経営企画室長委嘱  
 2012年 常務取締役就任 海外事業部管掌  
 2013年 代表取締役社長就任  
 (現在に至る)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

創業者・森永太一郎は、明治32(1899)年に米国で西洋菓子の製法を習得して帰国し、「日本の人々に栄養価のあるおいしいお菓子を届けたい」という大きな夢を抱いて森永製菓を創業いたしました。和菓子中心だった当時の日本に「西洋菓子」という新たな「文化」をもたらしたのです。以来、日本人の嗜好に合う味づくりと安心安全な品質にこだわり、創意工夫と研鑽を重ね、お客様に喜んでいただける商品をつくり続けてまいりました。おかげさまで、本年40周年を迎えた「ハイチュウ」をはじめ、多くのロン

グセラーブランドがお客様から長くご愛顧をいただいております。

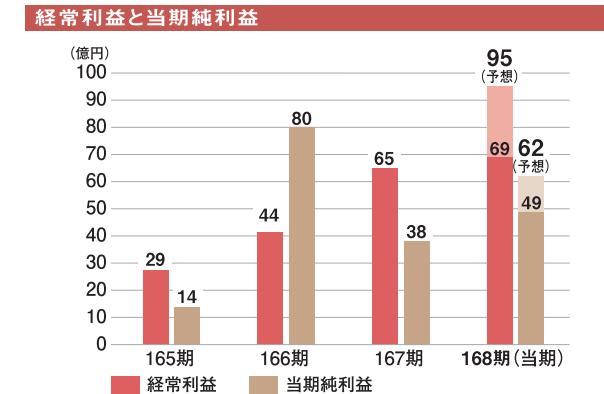
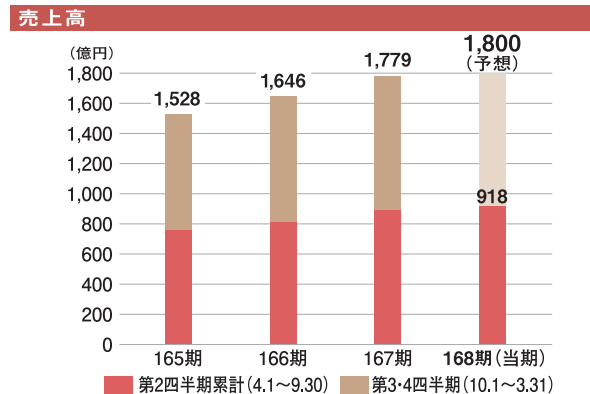
本年は、森永太一郎の生誕150周年にあたります。日本の菓子食品業界にますます大きな変化とグローバル化の潮流が高まる中、私たちは改めて創業者のパイオニアスピリットを胸に、「おいしく、たのしく、すこやかに」「世界の子どもたちに貢献できる企業になる」というビジョン・ミッションを軸にして、当社の品質と技術を以て、真に価値と感動のある商品を世界の人々へお届けするべく挑戦を続けます。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
**新井 徹**

当第2四半期の業績全体についてお聞かせください。

国内経済と共に菓子業界全体が上昇基調の中、当第2四半期は2015中期経営計画の初年度として、経営基盤の強化に注力してまいりました。その結果、主力の食料品製造事業が好調に推移し、売上高は前年同期比3%増の918億円となりました。損益では、売上高増収、売上原価率改善、マーケティングコストの効果的な投入により、営業利益では前年同期比191%増の66億円、経常利益は同168%増の69億円となり、増収増益となりました。中期経営計画の目標達成へ向けて、手応えのあるスタートを切れたと考えております。



※168期の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります。

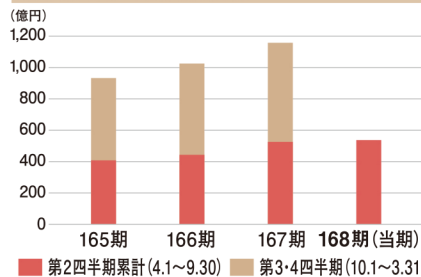
●セグメントの状況	売上高(百万円)	前年同期比	構成比	セグメント利益(百万円)	前年同期比較(百万円)
食料品製造	87,536	103.6%	95.3%	6,358	+4,371
食料卸売	2,677	94.4%	2.9%	159	+12
不動産及びサービス	1,304	96.1%	1.4%	357	△19
その他	332	100.1%	0.4%	46	+12

※平成27年4月1日より森永市場開発(株)を設立し「食料品製造」及び「食料卸売」セグメントの一部事業を統合したことに伴い、第1四半期連結会計期間よりセグメントの見直しを行いました。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

### 好調を牽引した食料品製造事業の状況を教えてください。

菓子食品部門では、国内では発売40周年を迎えたロングセラーブランド「ハイチュウ」や、「ダース」「森永ココア」などが好調に推移し、国内全体で前年同期実績を上回りました。海外では、米国、中国、台湾で前年同期実績を上回りましたが、インドネシアが経済停滞の影響を受けて苦戦し、海外全体では前年同期実績を下回りました。菓子食品部門全体の売上高は、前年同期実績に比べ4億円の増収となりました。

菓子食品売上 53,565百万円 前年同期比100.8%  
菓子食品部門売上高推移



ハイチュウアソート



ミルクココア300g

冷菓部門では、14年連続売上伸長を続ける主力ブランド「チョコモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、「パキシエル」等のマルチパック商品も伸長して前年同期実績を上回りました。

健康部門では、主力の「ウイダー inゼリー」が、商品別の機能性を訴求した広告展開の効果もあって前年同期実績を大きく上回り、「天使の健康」通販事業では「おいしいコラーゲンドリンク」や独自開発の健康素材「パセノール™」関連商品が前年同期実績を上回りました。

食料品製造事業での売上高は前年同期比4%増となり、損益では、マーケティングコストのさらなる効率化、高付加価値商品の増加や商品規格見直しによる売上原価率の改善、生産効率の改善により、前年同期比43億円の増益となりました。

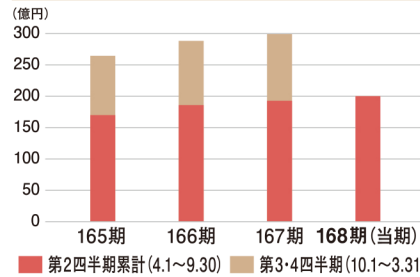


inゼリー(関川(錦織)圭選手)



チョコモナカジャンボ

冷菓売上 20,101百万円 前年同期比104.4%  
冷菓部門売上高推移

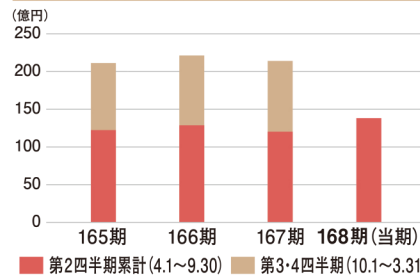


ウイダー inゼリー エネルギー



パセノール™ モイストジェル (化粧品)

健康売上 13,869百万円 前年同期比115.0%  
健康部門売上高推移



### 成長分野である海外事業、新事業創出を目指す新規分野の直近の状況について教えてください。

米国では、8月から「ハイチュウ」の製造・出荷を開始し、米国内の商品供給体制も整いつつあります。今後はさらなる成長を目指し、必要なマーケティング戦略を強化して売上拡大に取り組みます。東南アジアでは、9月末に海外事業本部タイ駐在事務所を開設しました。インドネシアでも商品開発のスピードアップを図り、戦略拠点として引き続き力を入れていきます。

新事業への取組としては、既存事業の枠を越えたさまざまな挑戦を開始しています。当社と外部ベンチャー企業との共創で新事業開拓を目指す「Morinagaアクセラレータープログラム」では、数多くの企業からの応募を得て、特に成長性が期待できる数社への投資やサポート、コラボレーション商品の開発も開始しました。この挑戦は、当社グループの新たな変革にもつながるものと考えています。



2015年9月 海外事業本部タイ駐在事務所を開設

### 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

当第2四半期の業績は、前年同期実績を上回って好調に推移しました。しかし、国内の消費動向や景況感は依然として回復と停滞を繰り返しており、原材料価格などのコスト増、海外経済の影響や為替相場の急激な変動など、外部要因を考えると楽観視できる環境とは言えません。引き続き気持ちを引き締め、目標達成へ向けた強い意志と実行力で、経営にあたっていきます。現在の好調を当社グループの確固たる実力とするべく一丸となって取り組みますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

森永製菓は、「世界中の子どもたちに貢献できる企業になる」という夢の実現に向けて社会貢献活動に努めます。

## 社会貢献活動の取組 『天使の学校』をスタート

『天使の学校』とは、実際の教育施設や学校ではなく、森永製菓が子どもたちの笑顔とすこやかな成長を応援するために行う社会貢献活動(体験型学習プログラム)の総称です。

森永製菓ではこれまで、「伊賀・エンゼルの森 自然塾」「工場見学」「1チョコ for 1スマイル」「フェンシングフルーレ 太田雄貴杯」など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでまいりました。

2015年10月、未来創造企業・株式会社グローパスの協力を得て、当社が実施するこれら社会貢献活動にグローパスが開発してきた教育メソッドを加えて、子どもたちの年齢ごとの発



達課題に寄り添った「体験型学習プログラム」に体系化し『天使の学校』と名付けて、展開をスタートしました。『天使の学校』では、子どもたちが参加・体験・学習できるプログラムを順次追加し、一層の活動の充実と世界の子どもたちとの商品・ビジネスアイデアの共創、笑顔とすこやかな成長へのさらなる貢献を目指してまいります。

『天使の学校』HP

<http://www.morinaga-tenshi.com/>

### 〈株式会社グローパスについて〉

2011年に3人の中学生が起業した、子どもによる子どものための未来創造企業です。国際標準の教育理論をもとにしたインターナショナルスクールの運営や大手企業とのコラボレーションによる新ビジネス創出等の事業活動を展開しています。

「GLOPATH」HP <http://glopath.com/>

『天使の学校』開校記念式典を開催  
森永会長(中央)  
株式会社グローパス  
最高経営責任者 CEO 仁禮 彩香さん(右)  
最高執行責任者 COO 齊藤 瑠夏さん(左)



## 『天使の学校』のプログラム例

### ▼食育体験・社会体験:

製造現場で菓子食品のものづくりに触れる「工場見学」

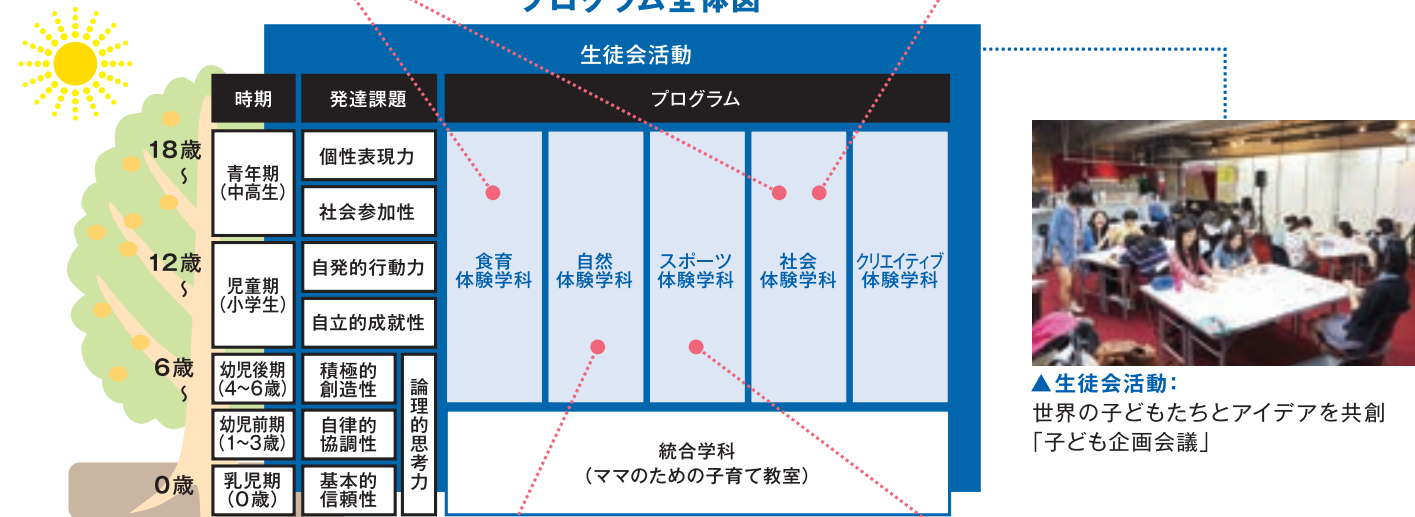


### ▼社会体験:

カカオ生産国の教育環境整備を支援「1チョコ for 1スマイル」



## プログラム全体図



▲生徒会活動:  
世界の子どもたちとアイデアを共創「子ども企画会議」



▲自然体験:  
森林や川、昆虫採集で自然と親しむ「伊賀・エンゼルの森 自然塾」



▲スポーツ体験:  
太田雄貴社員が企画。小学生フェンサー大会「フェンシングフルーレ 太田雄貴杯」

## 「ハイチュウ」40周年 限定商品を発売、さらにイベントも開催

柔らかな噛み心地とジューシーな味わいが特長のソフトキャンディ「ハイチュウ」が、発売40周年を迎えました。誕生から160種類以上のフレーバーが発売され、いまや日本のみならず、世界へと市場を拡大しています。

8月には40周年を記念して、限定商品「驚愕のハイチュウ」「謹製ハイチュウ」を発売し、東京・お台場で「ハイチュウの日(8月12日)」に合わせたイベントも開催しました。8月7日のイベントの記者発表には「ハイチュウ」のCMに出演中の関ジャニ∞全員が登場し、多くのメディアに取り上げられました。



ハイチュウ史上初  
チルド(要冷蔵)商品  
「驚愕のハイチュウ」

限定フレーバー5種セット  
「謹製ハイチュウ」

## 開け口を探すユニークなパッケージ 「開かずのチョコボール」が大きな話題に

おいさと楽しさを兼ね備えた「チョコボール」シリーズから、期間限定商品「開かずのチョコボール」を発売しました。いつもの開け口(くちばし)ではなく、お客様自身がパズルのように開け口を探すというユニークな仕掛けの「チョコボール」です。同時に、プレゼントキャンペーンの「おもちゃのカンヅメ」には謎解きを施した、開ける過程も楽しめる「開かずのカンヅメ」が登場。いずれもインターネットを中心に大きな話題となりました。



「開かずのチョコボール」



「おもちゃのカンヅメ」キャンペーン  
「開かずのカンヅメ」

## 新たな事業の可能性を拓ける 「Morinagaアクセラレータープログラム」

「Morinagaアクセラレータープログラム」は、2015中期経営計画に掲げる「事業の芽の創出」を目指し、既存事業の枠にとらわれずに、より広範に新事業を創出するため、多くのベンチャー企業から事業プランを募り、当社グループのノウハウやブランド資産も活用して支援し、事業を育成していくオープンイノベーションプログラムです。

昨年12月より募集を開始し、全132件の応募から5社を選出。各社とも、新しい着眼点とスピーディな実行力で、事業計画を推進しています。当社も積極的なサポートを行うと共に、当社事業との協業やコラボレーション商品の開発をスタートしています。



参加企業が開発した最新技術「AR(拡張現実)」を取り入れ、アプリを用いて視覚効果でも楽しめる新商品「チョコボール AR toyシリーズ」



Morinagaアクセラレータープログラム参加企業と  
新井社長(後列右から4人目)

## 太田雄貴選手、フェンシング世界選手権で金メダルを獲得

7月にモスクワで開催されたフェンシング世界選手権男子フルーレ個人戦で、太田雄貴選手が日本人初、アジア人としても初の金メダルを獲得しました。帰国後、『ウイダートレーニングラボ』で優勝報告記者会見を行い、多くの報道陣を前に、「引退も考えた空白期間の後、トレーニングラボでの厳しい指導が世界の頂点に導いた。そして次のリオ五輪に向けて最高の結果を出したい」と、優勝を勝ち取った喜びや次の五輪に向けての抱負を熱く語りました。



太田取締役常務執行役員(左)から「太田雄貴専用ウイダーinゼリーの開発」を約束し、目録として黄金のinゼリーを贈呈。  
右はトレーニングラボ・牧野コーチ

四半期貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 H27.9.30	前期末 H27.3.31	増 減
(資産の部)			
<b>流動資産</b>	62,618	50,999	11,619
現金及び預金	20,867	11,602	9,265
受取手形及び売掛金	20,679	19,035	1,644
商品及び製品	9,275	8,931	344
仕掛品	975	662	313
原材料及び貯蔵品	5,126	5,414	△288
繰延税金資産	2,108	1,752	356
その他	3,590	3,612	△22
貸倒引当金	△6	△11	5
<b>固定資産</b>	97,885	101,855	△3,970
有形固定資産	73,451	72,754	697
無形固定資産	2,629	2,823	△194
投資その他の資産	21,804	26,277	△4,473
<b>資産合計</b>	160,504	152,855	7,649

Point 1

【資産】

資産の主な増加要因は、流動資産の現金及び預金  
が前連結会計年度末に比べ増加したことなどによる  
ものです。

(単位:百万円)

	当第2四半期末 H27.9.30	前期末 H27.3.31	増 減
(負債の部)			
<b>流動負債</b>	40,560	37,653	2,907
支払手形及び買掛金	17,682	17,776	△94
短期借入金	204	912	△708
未払金	9,566	7,757	1,809
未払法人税等	3,120	1,478	1,642
賞与引当金	2,017	1,868	149
その他	7,968	7,858	110
<b>固定負債</b>	46,628	45,808	820
<b>負債合計</b>	87,189	83,461	3,728
(純資産の部)			
<b>株主資本</b>	59,723	56,328	3,395
資本金	18,612	18,612	—
資本剰余金	17,186	17,186	—
利益剰余金	26,494	23,080	3,414
自己株式	△2,569	△2,551	△18
<b>その他の包括利益累計額</b>	10,712	9,998	714
<b>非支配株主持分</b>	2,878	3,067	△189
<b>純資産合計</b>	73,314	69,393	3,921
<b>負債純資産合計</b>	160,504	152,855	7,649

Point 2

【負債】負債の主な増加要因は、未払金、未払法人税が  
増加したことなどによるものです。

【純資産】純資産の主な増加要因は、利益剰余金  
が前連結会計年度末に比べ増加したことなどによる  
ものです。

四半期損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	当第2四半期 H27.4.1~ H27.9.30	前第2四半期 H26.4.1~ H26.9.30	増 減
<b>売上高</b>	91,851	88,993	2,858
売上原価	46,716	48,071	△1,355
<b>売上総利益</b>	45,134	40,921	4,213
販売費及び一般管理費	38,533	38,655	△122
<b>営業利益</b>	6,601	2,266	4,335
営業外収益	528	514	14
営業外費用	199	193	6
<b>経常利益</b>	6,930	2,587	4,343
特別利益	555	12	543
特別損失	183	102	81
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	7,301	2,496	4,805
法人税等合計	2,447	800	1,647
<b>四半期純利益</b>	4,854	1,696	3,158
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△120	17	△137
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	4,975	1,679	3,296

Point 3

【損益計算書】

売上高は、主に国内の食料品製造事業が好調に推移  
したことで増収となりました。  
損益は、売上高の増収及び原価低減の取り組みの効  
果、商品規格の見直しにより、営業利益、経常利益、  
親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績  
に比べ、大きく増益となりました。

四半期キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	当第2四半期 H27.4.1~ H27.9.30	前第2四半期 H26.4.1~ H26.9.30	増 減
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	8,229	3,867	4,362
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	△402	△2,082	1,680
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	△1,910	△1,641	△269
現金及び現金同等物に 係る換算差額	39	△51	90
現金及び現金同等物の 増減額	5,956	92	5,864
現金及び現金同等物の 期首残高	11,602	4,765	6,837
連結の範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	2,908	—	2,908
現金及び現金同等物の 四半期末残高	20,467	4,857	15,610

Point 4

【キャッシュ・フロー】

営業活動: 主な内容は、税金等調整前四半期純利益  
などによるものです。  
投資活動: 主な内容は、有形固定資産の売却など  
によるものです。  
財務活動: 主な内容は、配当金の支払額などによる  
ものです。

会社の概要(個別) (H27.9.30現在)

商号 森永製菓株式会社  
MORINAGA&CO.,LTD.

創業 明治32(1899)年8月15日  
森永西洋菓子製造所 創業

会社設立 明治43(1910)年2月

資本金 186億1千2百万円

従業員数 連結:3,143名  
単独:1,358名



東京都港区・森永製菓本社屋

グループ会社 (H27.9.30現在)

連結子会社

食料品製造

- 森永スナック食品(株) 千葉県野田市
- 高崎森永(株) 群馬県高崎市
- 森永甲府フーズ(株) 山梨県甲府市
- 森永エンゼルデザート(株) 神奈川県大和市
- 森永デザート(株) 佐賀県鳥栖市
- (株)アントステラ 東京都渋谷区
- 森永市場開発(株) 東京都港区
- 台湾森永製菓股份有限公司 台湾台北市
- 上海森永食品有限公司 中国上海市
- 森永食品(浙江)有限公司 中国浙江省
- 米国森永製菓(株) 米国カリフォルニア州
- 森永キノインドネシア(株) インドネシア共和国ジャカルタ市
- 森永アメリカフーズ(株) 米国ノースカロライナ州

食料卸売

- 森永商事(株) 神奈川県横浜市

不動産及びサービス

- 森永高滝カントリー(株) 千葉県市原市
- 森永エンゼルカントリー(株) 千葉県富津市

その他

- (株)森永生科学研究所 神奈川県横浜市
- (株)森永ファイナンス 東京都港区
- 森永ビジネスパートナー(株) 東京都港区

持分法適用非連結子会社

- 森永リスクコンサルティング(株) 東京都港区
- 森永バイオサイエンス(タイランド)(株) タイランドバンコク市

グループ会社紹介

森永アメリカフーズ株式会社

森永アメリカフーズ株式会社は、米国での「ハイチュウ」販売の伸長と販路拡大を受けて、安定的かつ柔軟な商品供給体制の強化と効率アップ、さらに北米を中心にしたグローバルな製造拠点の一つとなることを目指して、2013年に米国東部のノースカロライナ州オレンジ郡メベイン市に設立されました。翌2014年より「ハイチュウ」製造工場の建設を開始し、2015年8月から製造・出荷をスタート。現在は、米国で特に需要が高い袋入り商品を中心に製造を行っています。

菓子の消費量も大きく、「ハイチュウ」の品質への評価も高まっている米国市場は、森永製菓グループのグローバル戦略の最重要拠点のひとつでもあります。一層の販売拡大を推進する米国森永製菓株式会社(カリフォルニア州)と連携を取り、森永製菓グループの商品開発力と製造技術力を結集した米国産「ハイチュウ」を、全米へ、世界へ、お届けしてまいります。



工場外観



ハイチュウ製造ラインと従業員

概要

沿革: 2013年12月設立

事業内容: キャンディの製造

従業員数: 40名(2015年9月時点)



森永アメリカフーズ製造のハイチュウが並ぶ店頭(ユタ州グロサリーストア)

取締役・監査役・執行役員 (H27.10.1現在)

取締役

代表取締役会長	森 永 剛 太	
代表取締役社長	新 井 徹	新領域創造事業部、監査部
取締役専務執行役員	佐 藤 順 一	
取締役常務執行役員	白 川 年 男	生産本部
取締役常務執行役員	太 田 栄二郎	営業本部長、マーケティング本部、物流部、ヘルスケア事業部
取締役上席執行役員	平久江 卓	経営戦略部、お客様サービスセンター、品質保証部
取締役上席執行役員	内 山 進 一	経理部長(株)森永ファイナンス代表取締役社長
取締役上席執行役員	山 下 充 洋	海外事業本部長 (上海森永食品有限公司董事長、森永食品(浙江)有限公司董事長)
取締役(社外取締役)	宮 井 真千子	

監査役

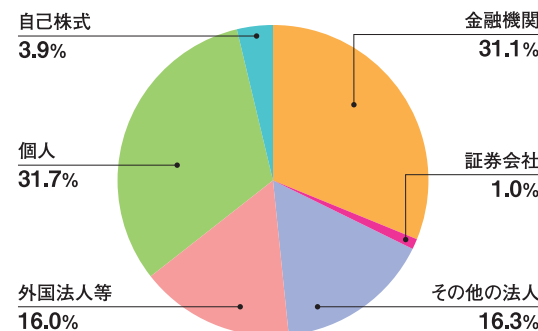
常勤監査役	伊 藤 直 紀
常勤監査役	茶 谷 紀 夫
監査役	太 田 東 平
監査役	高 橋 正 宏

執行役員

上席執行役員	杉 浦 俊 明	コーポレートコミュニケーション部長
上席執行役員	西 宮 正	マーケティング本部長
上席執行役員	津久井 慶 太	研究所長
執行役員	小 川 耕 三	生産本部小山工場長
執行役員	徳 山 義 家	人事総務部長
執行役員	福 地 博 之	生産本部長
執行役員	対 間 好 文	生産本部生産統轄部長

株式の総数 (H27.9.30現在)

所有者別持株比率



- 発行可能株式総数 — 1,000,000,000株
- 発行済株式の総数 — 270,948,848株
- 株主数 — 30,036名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

株主確定日 ● 定時株主総会 3月31日  
● 期末配当金 3月31日

定時株主総会 6月

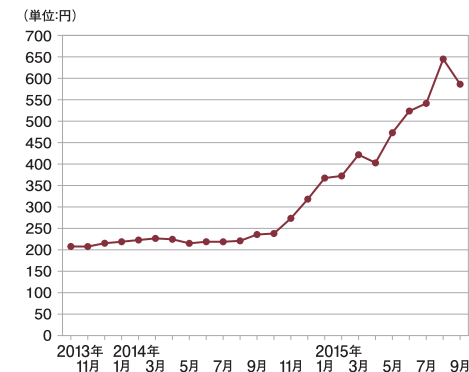
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL [http://www.morinaga.co.jp/company/ir\\_koukoku.html](http://www.morinaga.co.jp/company/ir_koukoku.html)

証券コード 2201

森永製菓株式会社株価推移 (月次ごと最終営業日終値)



株式の手続に関するお問合せ先・郵便物送付先

当社の株式を証券会社の口座でお持ちの場合

お取引の証券会社になります。ただし、未払い配当金の支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部で承ります。連絡先は、下記をご参照ください。

当社の株式を証券会社の口座でお持ちでない場合 (特別口座の場合)

三菱UFJ信託銀行証券代行部になります。連絡先は、下記をご参照ください。

株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関)の連絡先

〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行証券代行部  
電話(フリーダイヤル) ☎ 0120-232-711